

平成 25 年度第 1 回佐倉市公民館運営審議会会議要録

日時：平成 25 年 5 月 23 日（木）午後 2 時 00 分～午後 4 時 30 分

会場：弥富公民館

出席者：佐久間昭委員、大野尊史委員、酒井孝子委員、大野直道委員、浅井俊彦委員、
慶田康郎委員、芦崎徹委員、川村健委員、福山重雄委員、松井強委員（10 人）

事務局：中央公民館長・小林雅美 和田公民館長・木村武雄
弥富公民館長・井筒弘行 根郷公民館長・飯塚昇一
志津公民館長・檜垣幸夫 臼井公民館長・柳田晴生
社会教育課・江波戸寿人課長
中央公民館・猪股佳二副主幹、森田主査補

開会 14：00

1 開会

2 新委員・公民館長紹介

3 教育長あいさつ

4 議事

(1) 平成24年度公民館事業評価について

資料「平成 24 年度公民館事業評価シート」に沿って、各公民館長から報告。（根郷公民館・志津公民館・臼井公民館）

委員長

平成 24 年度公民館事業評価について、これは昨年度我々が根郷・志津・臼井公民館の事業について評価をしたものである。皆さんの手元にある資料が評価した内容である。3 館の館長より説明をお願いしたい。

飯塚館長

公民館運営審議委員の皆様から頂きました、根郷公民館事業に対する評価を受けまして、今後の内容等につきまして説明させていただきます。

資料を見ていただきますと、事業評価の対象事業といたしまして、成人事業といたしましては「寿大学」、団体育成事業といたしましては「南部地区子ども会育成会連絡協議会」への支援とボランティアの育成が対象となっております。各事業とも概ね良好との評価でございましたが、各委員からの主要な指摘事項に対する根郷公民館の方向性について説明させていただきます。

まず、「寿大学」についてですが、ご意見といたしまして履修過程を 1 年ではなくコースに分けると 2 年間継続の形がとれるのではないかと、同様にさらに学びを深められ次のステップを用意できるのではないかと。専科を設けることや、高齢者向けの健康講座、歴史講座、社会科講座等を組み込むことによって内容を充実させより理解を深められるような工夫が必要ではないかとのご指摘がございました。寿大学は昭和 46 年の開校であり

佐倉市の高齢者大学では最も歴史と伝統があり今年で43年目を迎えております。開校当時は地区住民を対象としておりましたが、市内全域に志願対象を現在は広げております。学ぶ意欲のある方は毎年受け入れております。また、この2年間については定員を超えて志願者全員を受け入れております。寿大学は生涯学習の場であると同時に共に学ぶ交流の場でもあります。寿大学は、市内の中央公民館の市民カレッジや志津公民館のしづ市民大学とは多少異なりまして、専門的に学ぶことより集いの場として或いは憩の場として生きがいを求めて気軽に参加される方が多いように感じております。また寿大学におけるアンケート結果からもその傾向が伺われております。志願者等に対する定員或いは収容する施設等のバランスが今後の課題となってくるものと考えてますが、他市の高齢者大学との役割分担や大学間の差別化があってもいいのではないかと考えております。今後につきましては、寿大学運営委員会のご意見を伺いながら専攻科或いは研究科等の設置の可能性を探ってまいります。また、来年度に向けてより理解を深めたい方への対応につきましては、寿大学の年間の講座数を増やし、また内容を見直す方向で検討をいたします。併せて市民のニーズを取り入れながら時代に則した公民館主催事業の充実のより対処していきたいと考えております。

次に「南部地区子ども会育成会連絡協議会」への支援でございますが、これにつきましては概ね良好であるとの評価でございました。

次にボランティア育成でございますが、ご意見といたしまして高校・大学との連携によりボランティアを経験した学生自身を講師とした講座開設を考えてみてはどの指摘でございますが、高校・大学との連携でございますが、佐倉市は歴史的に繋がり深い女子美術大学、また順天堂大学と官民の連携協定を締結しております。これは地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的としまして教育・歴史等の学術研究や文化の振興或いはスポーツ・健康・産業振興などの関連によって連携することで共に協力体制を築き上げていこうとするものです。今後、様々な連携事業が想定されますが、今後は通学合宿ボランティアとして協力していただいたりと実績のある地区の千葉敬愛短大との連携も検討してまいりたいと思っております。

次のご指摘は地域住民から自発的にボランティア立上げの意欲が出てくる様な情報提供支援が必要である。また各団体の支援をすると同時に新しいボランティアの発掘も必要である。とのご意見でございます。2番目についてでございますが多様化する市民ニーズに答え、質的にも充実した地域社会を作るため市民と行政との協働での街づくり地域づくりをすすめることが必要となってきております。ボランティアの重要性は今後益々増してくるものと考えられる。ボランティアのに関する情報提供・支援或いは新たな人材発掘等につきましては、市役所自治人権推進課が所管する市民提案型の共同事業の紹介或いは市民共同事業として地元で活発に活動しております、根郷小学校区まちづくり協議会への参画或いは市民協働事業報告会でありますまちづくりフォーラムへの参加、また、ボランティア都市の活動拠点として佐倉市市民広域活動サポートセンター等を活用していきながら推進していきたいと考えております。根郷公民館の説明は以上です。

委員長

ただ今、飯塚根郷公民館長より評価についての報告があったわけですが、皆さんからの意見についてはお手元の資料に網羅されておりますが本件についての質問等がありますか？ないようでしたら続いて志津公民館より説明願います。

檜垣館長

志津公民館の事業評価について説明させていただきます。

事業評については委員長よりお話がありましたとおり、昨年度第3回公民館運営審議会において事業評価シートに沿って成人教育に関する「しづ市民大学」、団体育成に関する

「第39回しづ公民館祭」を中心に考査していただきました。資料にありますとおり、各委員の皆様より高い評価をいただいていることは、これまでの公民館事業が住民の自主活動を育て援助しつつ、郷土づくりの意識を高めるなど、生涯学習の場としての適切な運営に、これまでの職員が努めてきたことによるものと考えております。

今後、成人教育における「しづ市民大学」につきましては、ご意見の中にもありますとおり、修学年数の複数年化やカリキュラムの再検討が必要でございます。

平成25年度では、各コースの定員数を再検討し、一部見直しを行った結果、総定員では150名から4名増加や、各コースの早い時期に受講生同志の話し合い等がとれる時間の作成を行っております。

また、団体育成における「志津公民館祭」につきましては、サークル等が運営主体となる実行委員会による継続を基本とし、日頃の活動成果の発表や展示が十分に行え、更に地域とのふれあいが活発となるよう今後とも進めてまいります。

現在、志津公民館等複合施設の整備が進められています。公民館運営審議会意見やさまざまな意見をふまえ、志津公民館事業がより拡充し、住民の自主活動がより活発なものとなるよう、整備の中で調整を図ってまいります。以上でございます。

委員長

志津公民館の説明にご意見のある方いらっしゃいますか？

ないようでしたら臼井公民館より説明をお願いします。

柳田館長

臼井公民館の事業評価について説明させていただきます。

昨年の事業評価につきましては、成人教育では「ちょっといいとこ見て歩き」「パワーヨガ」、団体育成では「臼井地区子ども会育成会連絡協議会」の支援を発表させていただきました。事業評価ではプラス評価をいただきました講座につきましては今後も継続して実施していきたいと考えております。利用者層と使用機会の拡大を狙いましたパワーヨガ講座につきましては今年も実施を継続したいと考えております。そのことで市民の皆様の夜間活用の定着を図っていきたくと思っています。また、改善すべき評価をいただいた部分につきましては、特に人気のある歴史散策など参加希望者の多い講座につきましては受け入れ枠を増やすなどしより多くの皆さんに参加していただけるよう工夫してまいりたいと思っています。また、散策の実施にあたりましては下見も含め適切な人員配置を行うなど安全面にも十分配慮して実施してまいりたいと思っています。今後の講座企画につきましては、皆様よりいただきました事業評価を反映させる中、各種講座に参加者アンケートを実施しより幅広い年代層が公民館を利用できるように進めてまいりたいと思っています。

また育成部門の臼井地区子ども会育成会連絡協議会につきましては、少子化による参加子ども会の減少につきましては、会員の少ない子ども会については合併なども視野に入れ継続できるように助言・サポートをしてまいりたいと思います。また、市児童青少年課と連携いたしまして参加団体の増加にPRに力を入れていきたいと思っています。以上でございます。

委員長

白井公民館についての評価の説明はいかがでしょうか。

先程、志津公民館の館長より志津公民館の建直しの件で広報にも出ていましたがあれだけではわからないので、今わかっている範囲で結構ですのでいつぐらいから工事が始まってどういう形になるのかをわかる範囲で審議員の皆さんに話してほしい。今度は複合施設になると聞いているが話をしていただけるとありがたい。

江波戸課長（社会教育課）

志津公民館の建替えについて概略的に説明させていただきます。委員長より複合施設というお話がありましたが、現在、志津出張所の場所に志津公民館を建設ということで進めております。ものとしましては、志津出張所、志津図書館、志津公民館、児童センター、地域包括支援センター、を含めた複合施設を建設していく流れでございます。まず今年度は基本設計に入る形になる。平成 25 年度から 26 年度の 2 ヶ年にかけて設計に入ります。工事は 26 年度 27 年度という形になっております。実際の皆様方のご利用につきましては、平成 27 年度中の供用開始ということで準備を進めているところでございます。

委員

今の公民館の跡地については？

江波戸課長（社会教育課）

教育委員会では建てることだけになるので、跡地部分の利用については言える立場になり。ご理解いただきたい。ただ、新しい施設については平成 27 年度からになるので、それまでは現在の志津公民館を利用は可能ではないか。

委員長

志津公民館は今駐車場が非常に狭く駐車するのに大分苦労していたが今回は駐車場は広くとれるのか？

江波戸課長（社会教育課）

駐車場の話だが、教育委員会としては公民館部分がメインとなり、予算的に物は教育委員会だが、実質的な整備関係などについては、資産管理運営室の方で実施する形になる。駐車場についてもこれから設計になるのでご理解いただきたい。

委員長

（1）の議事についてはよろしいか？

それでは引続き（2）平成 24 年度公民館事業報告について各館より説明をお願いします。以前に前期と後期に分けて各館長より説明を受けているが、今回は年間を通しての報告をお願いしたい。

（2）平成 24 年度公民館事業報告について

小林館長（中央公民館）

ご説明させていただきます。説明の前に訂正箇所があります。成人教育の地域づくり入門講座とパソコンイベントの対象人数が地域づくり入門講座が 20 名、パソコンイベントが 40 名に訂正させていただきます。平成 24 年度の事業でございますが、資料にも

ございますとおり、家庭教育、青少年教育、成人教育、団体育成について計画どおり実施しているところでございます。家庭教育事業におきましては、2歳児と保護者を対象にしまして6/12～7/10までの期間に5回を計画し11組の参加がありました。この事業は親子が遊びをとおして幼児の心の成長と豊かな感受性を生む親と子の為の講座として実施しております。事業内容といたしましては、小麦粉粘土を使った造形遊びや絵の具を使った挿し絵遊びを行い親子の絆をさらに深めております。また、市内の小学生と父親を対象にお父さんと一緒に食育講座では親子でハンバーグごはんを作って楽しい思い出を作っていました。4組8名の参加がありました。青少年教育事業でございますが、小学生3～5年生を対象としたジュニアカヌースクール、佐倉地区4小学校、小学生以上を対象とした子どもの居場所作り、佐倉小学校の4～6年生を対象とした通学合宿、小学生と保護者を対象とした親子映画会、小学生4～6年生を対象とした夏休み子ども水辺探検ツアー、女子美術大学と連携を行う小学生3年生以上を対象としたJOSHIBIワークショップもの・ものストーリーブックといった事業を実施いたしました。青少年教育事業の全体の参加者は1,629名となります。昨年度から始めた事業といたしましては佐倉市と女子美術大学との連携事業のストーリーブックでございますが、今年度も女子美との連携事業を実施する予定でございます。昨年度は参加者が少なかったですが、今年は増やす方向でございます。次に成人教育でございますが、中央公民館の最も重要な事業でございます、佐倉市民カレッジですが、1年生から4年生までしっかりしたカリキュラムで学習をしていただいております。また、佐倉学にいたしましては、印旛沼の文化と自然、佐倉・城下町400年と土井利勝、佐倉の民話・伝説・小説・映画・写真から佐倉を詠む、を実施いたしまして、体験講座として、佐倉民話を語るボランティア派遣事業、佐倉こどもかるた普及派遣事業を実施しているところであります。さらに印旛沼環境基金が主催する印旛沼温故知新を共催事業として実施しております。佐倉学参加者は派遣事業を除いて784名となっております。その他の成人事業といたしましては、地域づくり入門講座、パソコン講座などを実施いたしまして54名の参加をいただいております。昨年からは始めたコミュニティ事業として、学びあい講座がございますが、テーマとして色で見つけよう、あなたの魅力再発見を実施いたしまして54名の参加をいただきました。

次に団体育成事業でございますが、佐倉地区子ども会育成会連絡協議会の事務局を中央公民館が務め支援を行っております。その他といたしまして、佐倉地区青少年育成住民会議などの社会教育団体への支援を行いました。公民館の利用にあたりましては利用団体の交流と利用方法について懇談をいただく利用グループ懇談会や調理室利用懇談会を実施しております。広報活動といたしましては、公民館の事業紹介、地域の情報発信のための公民館だよりを発行しております。また、市民から原稿を募集し市民による編集・編成会を行っていただいております「なかま」がございます。中央公民館からは以上です。

木村館長（和田公民館）

ご説明させていただきます。初めに家庭教育でございますが、親子遊びをとおしまして、幼児の自立のための親の役割などを考える場を提供する子育て教室を5月から9回実施しております。子育て中のお母さんが参加しやすいように臨時託児室を設けるなどしながら13組の親子が参加された。「楽しく家庭教育講座」は、ものづくり講座（アメリカン陶芸・組子コースター）や栄養講座など3回行いました。また、これ以外にも、毎月2回程度集まり、料理やものづくりなどを参加者同士で教えあうことも行い、5月から21回実施しました。9人の保護者が参加しております。

次に青少年教育ですが、和田地区の小学生を対象に、「剣道教室」を開催しました。5月から38回土曜日を中心に行い、18人の児童が参加しております。

また、地域の協力を得ながら、10月に「軽スポーツ大会」を行っております。昨年はグラウンドゴルフを和田小学校のグラウンドをお借りして行っております。参加者は小学生が23人で、この他に成人が65人、計88人が参加しております。

「夏休みおもしろ体験教室」は、学校では味わえない体験をしてもらおうと企画しているもので、昨年はスカイクロスやユニカールなどニュースポーツ体験や料理教室、専門家を招いての理科の実験教室などを行い、15人が参加しております。

「佐倉っ子塾 伝統文化体験教室」では、和田はたおり保存会の指導によります「はたおり体験」や、青少年相談員の指導による「凧作り教室」など、計3回、36人が参加しております。

次に成人教育ですが、「ふるさと味工房」では、和田地区で採れた食材を利用した太巻き寿司や新鮮野菜料理の講座など3回行い、42人が参加しております。

「楽しく学べる和田地域塾」では、和田の歴史や民俗などを学び、体験していただく講座ですが、下勝田の獅子舞の紹介やはたおり体験、地元陶芸家による陶芸製作、和田で採れた食材を利用した料理講座など7回行い、14人が参加されました。

次に、「学びあい講座」ですが、「佐倉の水環境と私たちの暮らし」と題しまして、湧水の特徴と印旛沼の関連を考える講座を3回行っております。参加者は10名でございます。

「団体育成事業」ですが、まず和田小PTA民俗資料収集委員会ですが、この委員会のメンバーが中心となりまして、12月に「しめ飾り講習会」を実施しております。これは毎年、和田地区の農家が栽培している古代米のわらを使って作るもので、昨年度は13名の市民の方が参加されました。次に、和田はたおり保存会ですが、毎週金曜日を基本に、綿や藍の栽培、糸づくりや「はた織り」の実演を行いました。

また、和田地区青少年育成住民会議は日頃、青少年の健全育成を目的として活動しておりますが、11月には地域の他の団体と協力して、和田ふるさとまつりという地区住民が集う行事を行い、子供も含め456名の方が参加しております。

次に、広報展示活動の「歴史民俗資料室展示」でございます。歴史民俗資料室は「和田小PTA民俗資料収集委員会」が収集した稲作・畑作・養蚕・暮らしなどの道具やはた織り機など、約80点を展示しております。昨年度、社会科見学で市内小学校の16校から約1,100人の児童が見学を訪れており、一般見学者を含めると、約1,750人が訪れました。また、団体の見学の際は、和田はたおり保存会によるはた織りの実演、小学校の保護者による説明ボランティアを実施しております。以上です。

井筒館長（弥富公民館）

平成24年度の事業報告します。

家庭教育事業の「親子遊びのつどい」では、2・3歳児とその保護者11組の参加をいただき、工作やゲームなど、さまざまな親子遊び、集団での遊びを通して学習することで、子供たちの著しい成長を伺うことが出来ました。「家族で遊ぼう」では、11月に川村美術館周辺を親子で散策し、自然に触れたり、集団遊びをしたりして、親子での大切な時間を過ごすことが出来ました。

続きまして青少年教育、「弥富剣道教室」でございますが、8人の児童の参加と少数でしたが、声を出し元気に練習することを第一の目標とし、5月から38回実施いたしました。剣道の稽古のほかに弥富にゆかりのある立身流の基本の形も練習しました。「星空観察会」は5月、8月、11月の3回、延べ92人の参加をいただき、天体への興味をもたれた

子が生まれたようです。次の「なんでも体験弥富塾」参加者は41人で、特に地域の方々にご指導をいただき、おもちゃ作り、川遊び、料理、成木餅づくりなどを体験しました。次に成人教育でございます。「ふるさと弥富散策会」の1月は雪のため中止といたしました。3月は弥富地区を中心に散策を行いました。「グラウンドゴルフ」では、弥富地区の高齢者クラブにご協力をいただき、子供から高齢者まで54人の参加があり、異世代間の交流が図られました。次の「竹炭づくり」でございますが、こちらも地域人材を活用し、弥富地区ならではの講座を実施いたしました。「パソコン活用塾」では、画像編と年賀状編の2回実施いたしました。参加者は4名でございます。また、成人教育の佐倉学といたしまして、生活文化の継承を目的とし「くらしの講座」を実施、チーズケーキ、太巻き祭り寿司、米粉のロールケーキ、そば、布草履づくりやバス研修を行い延べ152人の参加をいただきました。佐倉・城下町400年記念事業として、「南部地区の旧街道を歩く」では、御成街道、御茶屋御殿跡を訪ねました。佐倉学入門講座「史跡散策」では岩富町地区の教蔵寺や弥富民俗資料室を見学し、地域への理解をさらに深めていただきました。「塩古ざるづくり」でございますが24年度初めての事業で、弥富周辺地域に昔から伝わる、ざるづくりの技法を次世代に継承するため、地域の方に指導をいただき材料作りから編上げまで7回にわたり学びました。単年度での習得は困難であったので今年度も継続してまいりたいと考えています。コミュニティ事業「学びあい講座」では、塩の歴史、塩の健康、塩の美容学について学びました。

広報活動事業といたしましては、公民館便りを年3回、区長さんを通じて全戸に配布していただき、情報の提供を行いました。

団体育成事業では、弥富民俗資料展示室の見学に対する説明・案内に関する事、弥富地区青少年育成住民会議等の団体が開催する事業への協力を行いました。以上でございます。

飯塚館長（根郷公民館）

平成24年度の事業報告をさせていただきます。

まず家庭教育事業でございますが、2歳児とその保護者を対象とした、ぽっぽちゃんクラブではコースを2回に分け前期5月から、後期10月から開校しそれぞれ12回の開催をしました。本の読み聞かせや手遊び・体操・工作など友達と触れ合いながら幼児期の豊かな心を育み、体を動かすことの大切さ楽しさを学びました。また、参加者同士の交流をとおしまして、情報交換や子育ての不安解消親子との関わりについて学んでいただいております。

次の親子ふれあい体操につきましては、ぽっぽちゃんクラブには継続して参加できない親子の為に12月にクリスマス遊びとブーツ作りとしまして実施した。幼児とその保護者を対象に遊びや体操、工作をとおして親子の関わり方を学んでいただき、合わせて参加者同士の交流を図り仲間作りの場を提供いたしました。次の親子体験教室でございますが、屋外活動や物づくりなどをとおして親子のコミュニケーションを深める機会を提供すると共に、知識や技能を身につけていただく教室です。

5月に参加者全員で年間の全体計画を決定し、9月の料理実習で使う野菜(なす)の植え付けを行いました。6月にザリガニ釣り、7月に木の実細工、9月に親子でクッキング、10月には参加者のリクエストで決定した卓球とドッチビーを楽しみました。

次の、家庭教育共通事業では、「食の大切さ」をテーマに、小学生の子供を持つ保護者を対象に、「簡単・団らん・夕ごはん」をテーマとして、子どもと一緒にお手軽ちらしずし、豚肉のロール巻、サラダ春巻きをつくり、楽しく料理に取り組めたと好評でした。

次の、学びあい講座「スーパーキッズ集まれ」は、コミュニティ事業として、市民公募

による講師の企画に基づき開設した講座です。

2歳から6歳の幼児と保護者を対象に、幼児の創造力を育みスーパーキッズを養成することを目的に「ゲーム感覚で数字や図形に触れ、幼児の豊かな創造力を育みました。また、指導者自身も講座をとおして、指導の方法などについて共に学んでおります。

次に、青少年教育でございます。

まず、親子交流では、根郷地区青少年相談員を講師に招き、六角凧づくりの指導や、地元で採れた食材を使って「親子でまつりずし作り」に挑戦しました。

次に、通学合宿でございますが、根郷小、寺崎小、山王小の児童21名を対象に、南部中、根郷中、佐倉南高の学生ボランティアや地域のボランティアの協力をいただき、3泊4日で実施しました。親元を離れ、団体生活の中で日常生活の基本を自分自身で行いながら学校に通うことで、子どもたちの社会性、自主性、協調性を伸ばし、「生きる力」を育みました。地域の方々からは、参加者を増員できないかとの声があり、今年度は30人枠での実施を予定しております。

次の、体験学習・ものづくりでは、様々な体験をとおして自主性・協調性を養える事業となるよう、科学実験の楽しさを学ぶ「おもしろ科学実験隊」や、水彩画教室、鹿角を使ったアクセサリ作り、紙版画教室等を実施しました。

次に、成人教育でございます。

まず、寿大学でございますが、

地域の中で、連帯感を育み、生きがいを持って健康で充実した生活が送れるよう、健康の維持・増進、生活文化、地域問題などの様々な講座を通じて交流を図りました。

根郷の歴史や社会問題、音楽及び映画鑑賞、社会見学、時事問題(NHK千葉支局：時の話題)等をテーマに学習しました。

次に、健康づくり講座では、日常生活の中で簡単にできる有酸素運動、筋肉運動、柔軟運動、バランス運動の4つの運動を複合的にを行い、若年層から高齢者まで、幅広い年代の方に参加していただき好評でした。

次の、人権講座では、「視覚障害者理解と体験教室」として、千葉県立盲学校から講師を招き、ガイド歩行体験や講義をしていただき、障害者に対する差別意識解消の一助としました。

次の、パソコン講座及び、パソコン自由利用では、初心者を対象に、パソコンに触れる場の提供及び上達に向けての指導をいたしました。

次の、大人の科学実験隊でございますが、普段、公民館に来られない世代をターゲットとして、大人の科学に対する興味を引き出す機会として、土曜日の夕方、午後6時から8時にかけて、2回実施しました。

次の、地域づくり入門講座につきましては、地域住民の防災・防犯の向上を図るため、公民館利用者の方々にも協力して頂き、避難訓練を実施し、消防署の協力を得て水消火器による消火訓練、避難誘導等について学びました。

次の、佐倉学でございますが、佐倉(根郷地区)をテーマに、時代の変遷をわかりやすく学び、郷土の歴史について興味と愛着を持ってもらうことを目的としています。

佐倉年貢道を歩くでは、地元根郷地区の方に講師をお願いし、馬渡から新町までを3日間かけて歩き史跡を巡りました。

また、「佐倉人物伝ー津田信夫」「文学から佐倉を学ぶー正岡子規」や「鉄道講座」を開催し、佐倉に関する偉人や歴史について学びました。

次の、体験ものづくり講座では、地元の伝統的な素材を活かした「こんにやく作り」、佐倉学を学ぶ機会として「子どもかるた教室」を実施、講座をとおして地域住民との交流を図りました。

次の、根郷探訪では、地域の歴史・文化・自然を学ぶことで、郷土愛を高めていただくため、春に石川・六崎地区、秋には寺崎地区で野草観察会を実施いたしました。団体育成では、子供会(備品の貸し出し)や青少年育成住民会議等の事業及び活動への支援、また、公民館の定期利用者との懇談会を設け、公民館運営の活性化に努めております。人材育成では、通学合宿での中学・高校生へのボランティア協力の呼びかけを行いました、パソコン講師 や 環境美化団体(花の応援団)、保育ボランティア、主催事業への地域の市民講師の依頼など、地域の人材を活かした講座展開に努めています。広報事業といたしましては、公民館事業の案内や報告、地域の情報など様々な地域情報を提供するため、「根郷公民館だより」を地域内に4月と9月の年間2回、新聞折り込みにより配布(10,900部)しました。一つ飛びまして、その他といたしましては、夏休み期間中、個人でも利用できるよう自習室の提供を行いました。また、毎月第1日曜日に家族、友人と楽しむ場として卓球室の開放を行っております。最後の展示スペースの開放でございますが、市民への情報提供のスペースとして、公民館ロビーにサークルや地域住民の作品等を展示しております。根郷公民館の事業報告については以上でございます。

檜垣館長（志津公民館）

志津公民館の事業報告について説明します。

初めに、申し訳ございませんが資料の訂正をさせて頂きたいと存じます。表の7つめの事業となりますちよこボラの期間・回数の欄ですが、1行目の7月～3月は通年、2行目の7月～1月は7月～11月に訂正をお願いいたします。また、次の欄のしづ学入門の期間・回数の欄の2行目、5月～1月：19回は二重線で削除下さるようお願いいたします。

誠に申し訳ございませんが、以上の訂正をお願いいたします。

それでは事業報告をさせていただきます。

家庭教育といたしましては、子どもと親がともに成長する「育自」を体験する講座「おかあさんと遊ぼう」、親子で参加できる「笑顔で子育て応援講座」をそれぞれ実施し、受講者は81名でありました。

青少年教育といたしましては、佐倉っ子塾 志津子ども教室として、佐倉の地域素材をおりませた体験学習講座を実施いたしました。

小学生を対象として「子どもクッキング教室」「子ども手作り工房」「子ども自然教室」「子ども理科実験教室」の4事業を各4回実施し、254名の参加がありました。

また、中学生と高校生を対象とした「ちよこボラ（公民館でちよこっとボランティア）」では4名が職場体験学習を行いました。

成人教育といたしましては、「しづ市民大学」「佐倉学」「学びあい講座」で区分をいたしております。

しづ市民大学は、「しづ学入門」、「地域健康学」「くらしの情報学」を定員40名とし、また、「おやじの食事学」は成人男性定員30名、4つの専科コース合計150名でそれぞれ実施しております。また、合同講演会を市民にも公開して実施しております。

佐倉学では、佐倉学入門講座といたしまして、志津地区の遺跡の成り立ちを学び、郷土愛や遺跡保存の意識を高める「井野長割遺跡を学ぶ」を実施しております。参加者は20名でございます。

また、佐倉・城下町400年記念事業といたしまして、佐倉城主が通った佐倉道を実際に歩いて学び、城下町佐倉について考える「佐倉道を歩く」を実施しております。参加者は2コースで38名でございます。

学びあい講座では、「コミュニティ食堂を作ってみませんか？」として、地域住民が共に生き、支え合うことができる場を紹介し、食事を楽しみながら交流が図れる場が地域に手作りできないかを考える事業を初めて実施し、16名の参加となりました。

次の団体育成といたしましては、志津公民館祭が大きな事業となります。昨年度で第39回を迎え、志津公民館で活動をしているサークルが運営する実行委員会を組織し、有意義な学習成果の発表の場、さらに地域との交流の場として3日間開催いたしました。

103団体が参加し、のべ2,523人の来場となっております。

その他、「定期利用グループ運営研修会」「調理室利用者懇談会」を実施しております。関係する団体に対しましては、「市子連の事務」や「志津ジュニア・リーダース・クラブの支援」「志津地区社会教育団体への援助」「相談・カウンセリング等の支援」「公民館園芸ボランティア団体への支援」をおこなっております。

最後に、広報活動でございますが、志津地区各世帯に公民館だより「しづ」を5/1・10/1・1/15の年間3回、各25,000部の発行しております。発行にあたっては、志津公民館事業の案内・情報などを提供することで、公民館への理解と認識を深めていただいております。また、各事業の参加募集も公民館だよりでおこなっているところでございます。事業報告については、以上でございます。

柳田館長（臼井公民館）

平成24年度の事業報告でございますが、

まず、家庭教育部門では、「お話会」「2・3歳児親子遊び」「家庭教育共通講座」の3本を行い847名の参加を得ました。特に「2・3歳児親子遊び」で行った「房州うちわづくり」「作って挙げよう、凧作り」では、親子での参加が多くあり好評をいただきました。家庭教育共通講座では、父親がドイツ人、母親が日本人という家庭でドイツの教育を受け育った講師が日本とドイツの家庭や親子のあり方違いについて語っていただく講座を行いました。青少年教育では、佐倉っ子塾共通講座として「自然講座」、音楽ホール所有のストリートオルガンの音の出る仕組みを知る「手作り楽器講座」の2本を行い計49名の参加を得ました。

また、成人教育では、音楽ホールとの共催での「舞台なお仕事探検隊」、働く世代が参加しやすい夜間講座としての「パワーヨガ講座」、学びあい講座としての「気軽に無理ない健康体操」、佐倉学としての「ちょっといいとこ見て歩き」他4講座を含め、計9講座約1,500名の参加を得ました。

団体育成といたしましては、「臼井地区子ども会育成会連絡協議会」加盟の11団体を支援しております。行事といたしましては、臼井ふるさとにぎわい祭りへの参加、中央交流フェスティバルへの参加、6年生を対象のバスハイクを実施しております。

広報・展示活動といたしましては、年2回の「臼井公民館だより」の発行。通年でのパソコン自由利用、サークル展示活動の支援を行ってまいりました。

図書事業でございますが、貸出が14,216冊、来館人数は50,143人でした。

以上でございます。

委員長

各館長より平成24年度の事業報告をしていただきましたが、何か質問はありますか？

委員

講座の募集をしたときに募集人数が少なかったときはどうするのか？ 弥富剣道教室につ

いて、応募人数が 8 名とあるが、38 回の実施回数を 8 名で行ったのか？

井筒館長

質問の剣道教室ですが、今年の例ですと、当初公民館日より、弥富地区のみで募集をさせていただき、そのあと、近隣の根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校へのチラシの配布をお願いし、参加者を募集している。そのうえで、8 名の参加者が 38 回の参加で延べの参加者ではない。

委員

例えば、3 名の参加、2 名の参加の場合、中止をするとか考えるのか？

井筒館長

弥富の剣道教室の場合、先程説明をさせていただきましたが、千葉県の無形文化財立見流という文化の継承という意味もあるので少人数でも続けていきたいと考えている。集める工夫は今後もしていきたいと考えてる。

委員

剣道だけではなく他の講座でもそうなのか？

小林館長

昨年度までいた志津公民館についていただくと、応募者が少ないようですと、チラシを作成し地域の小学校へ配布の依頼をしている。

委員

応募前にすることではないのか？

小林館長

配布はしているが応募に達しないような場合なら直前でももう一度配布している。せっきくの事業なので全部とは言わないが機会がある限り配布している。各館やり方は違えどやっている。

委員

中央公民館の佐倉学の印旛沼公開講座と佐倉学専門講座の印旛沼の文化と自然についてはどういう関係か？内容は同じものなのか？

猪股副主幹（中央公民館）

昨年度の佐倉学温故知新について環境簿保全課との共催事業となっており環境について講座と講演会をしている。印旛沼の文化と自然は自然だけではなく、自然や印旛沼にまつわる文化を重んじる講座として学習していただいている。中央公民館の独自の事業である。

委員

臼井公民館では平成 24 年度はコミュニティ講座は行わなかったのか？

柳田館長

事業報告の中に成人教育の中の「気軽で無理をしない体操」がコミュニティ事業となる。他館のように明記していないだけである。

委員

根郷公民館の図書貸出数と返却数の誤差の理由と、夏休みの自習室の利用人数が少ない理由について

飯塚館長

図書の貸出についてだが、根郷公民館は図書室が設置されておりませんが 3000 冊の書架があり貸出をしている。リクエストで取寄せ公民館窓口で貸出を行うシステムである。

夏休みの自習室の件だと思うが、40日間で16人の使用者しかいなかった。20人ほどが入る部屋を用意している。大々的にPRすると対応が難しくなるため公民館だけで知らせている。

委員

弥富公民館の成人教育の塩ソムリエに学ぶは一般の公募から選んだのか？

井筒館長

コミュニティー事業については各公民館6館が事業をするということで社会教育課が募集をし審査をし選ばれた講師を各館に割り振り各館が事業を行った。

委員

講師の公募というのは大変いい企画だと思う。集め方をどうするかが問題だろうと思う。

江波戸課長

昨年度から始まったもので、市民講師が市民に教えるという形で募集をしているが、市民の方の中には優れた技術・知識・技能をもった方々がいらっしゃるの、そういう方々を講師として市民が受講生として教えていただく。そして、共に成長していくというのが目的・主旨である。応募について今年度も昨年度同様社会教育課とまとめて応募をさせていただき、応募者にはプレゼンをしていただき自分はこのことができる。ということをお教えいただき、その中から市内公民館の6事業を選ばせていただく。講師に選ばれた方は、直ぐに講師というのではなく、講師塾というものを受けていただき、講師として最低限必要なことを学んでいただき、その後それぞれの公民館で事業を実施していただく。昨年度の受講生からアンケートもとってあるので、参考にしながら今年度進めていきたい。学びあい講座も分かりづらいため佐倉学び塾と変更をし募集をする予定である。チラシや要綱については市内公民館へ配布する予定である。広報への掲載せる予定である。

委員

事業報告と事業計画のフォーマットを統一できないか？

小林館長

今後統一しわかりやすい表記にするよう指示する。

(3) 平成25年度公民館運営計画及び事業計画について

平成25年度公民館運営計画及び事業計画について各公民館長より報告

委員

市民カレッジ・寿大学・しづ市民大学の応募状況について知りたい

小林館長

市民カレッジ 定員100名のところ120名の応募で昨年度より40名の減である

委員

定員100名なのでどのような基準で選んでいるのか？

小林館長

応募者に来ていただいて公開抽選を行っている

飯塚館長

寿大学 144名の応募があった。昨年度から応募者全員を受入れている。

檜垣館長

しづ市民大学 定員 150 名のところ 210 名の応募があり 154 名の受入れとなる。運営委員会による抽選を行っている。

委員

市民カレッジのコースだが開校当初からだとは思うが、社会のニーズ、地域のニーズから考えると若干検討する時期ではないか？街づくりだとか直接地域で活躍のできる人材を育てるようなコースにしてはどうか？

小林館長

カレッジに関しては開校から 20 年がたっているので入学の仕方等検討する時期がきている。アンケート調査などをしながら運営委員会などと協議を進める。

委員

今年度のコミュニティー事業が一部の館だけだが他の館は実施をしないのか？

小林館長

コミュニティー事業について今年度も全館で実施する予定である。

委員

ここには記載されていないが追加されるということか？

小林館長

そうなります。現在、社会教育課で進めているところである。

(4) 平成 25 年度佐倉市公民館運営審議会会議について

(5) その他

・平成 25 年度印旛郡市社会教育振興大会について

5 閉 会 16 : 30